

令和7年10月20日

職員各位

市長

令和8年度予算編成における基本的な考え方

本市を取り巻く社会経済情勢は、物価・エネルギー価格の高止まり、金利・為替の変動に加え、現在、国の政局も不安定な状況にあり、国の制度設計や国庫補助・交付金など、見通すことが難しい状況にあります。また、民間企業へのサイバー攻撃により、大きな障害が発生していることなども鑑みると、同様の脅威が我々地方自治体にも波及し、本市が行っている様々なサービスに重大な影響を及ぼすことも懸念されます。このように自治体を取り巻く環境が依然として厳しい、目まぐるしく変化する状況にある中でも、市民生活の安心・安全を最優先に、市民の暮らしを支えるため、日々懸命に業務に取り組んでいただいている職員 みなさんに、改めて感謝いたします。

これから、令和8年度の予算編成が始まります。令和8年度は、本市の最上位計画である「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」前期基本計画期間の最終年度にあたる重要な年度となります。「未来創造」、「魅力創造」、「幸せ創造」の3つのリーディングプロジェクトに紐づく主要事業に優先的に取り組むことはもちろん、アクションプランに位置付けた政策的事業や、公共施設及びインフラの整備・維持更新など、これまでの事業の成果を客観的に検証し、必要な見直しや事業の重点化を図りながら、本市のあるべき姿の実現に向けて、着実に前進する予算編成としてください。

令和8年度は、北竜台学園義務教育学校の整備が最終段階に入り、公共施設やインフラの老朽化対策、防災・減災のまちづくり、地域公共交通の充実、脱炭素社会の実現に向けた取り組みなど、行政経営の基盤を整える事業も継続して進めていく必要があります。これに伴い、普通建設事業は引き続き高い水準で推移する見込みです。

これらの事業を推進し、将来にわたって持続可能なまちを築いていくためには、その実現を担保する財源の確保が不可欠です。創意工夫による新たな財源の確保、既存事務事業の見直し・再検証による事務事業コストの削減といった収支両面での取り組みを中長期的視点をもって実行していくことが求められます。

そのためにも、職員の皆さんには、前例にとらわれることなく、「このまちをどう変えたいか」、「市民が実感できる成果は何か」問い続けながら、創意工夫をもって予算要求・事業設計に取り組んでください。皆さんの知見と情熱が市政を支える大きな原動力となり、龍ヶ崎市の未来を切り拓く力となります。

職員の皆さんには自身はもとより、ご家族の健康にも留意されながら、一丸となり市政の推進にご尽力いただけることを心から期待しています。